

分野名：自治公民館活動

「ななめの関係」づくりをめざして

～夏休みきらめき学習・通学合宿・子供風流太鼓の取組～

八女郡広川町智徳公民館【自治公民館】

前分館長 山下 英一

1 事業名

「夏休みきらめき学習」「通学合宿」「子供風流太鼓」

2 事業の目的

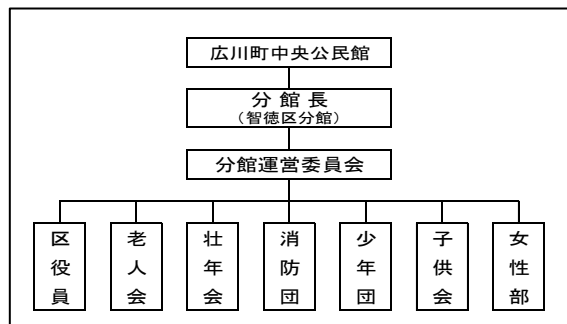
共通：異学年の子供及び地域住民等による「ななめの関係」づくりの推進

<夏休みきらめき学習>	<通学合宿>	<子供風流太鼓>
地域の方々の支援のもと他地区かつ異学年の子供による教え合い学習や創作活動によるふれあいを行わせる。	地域の方々の支援のもと、異学年の子供達による主体的な炊事や学習等を行わせ、働くことの大切さに気づかせるとともに基本的な生活習慣の醸成を図る。	智徳風流保存会や地域の方々の指導のもと智徳区の全ての小学生男子（従来のしきたりのもと）に智徳熊野神社子供風流の舞や太鼓を受け継がせる。

※ 「ななめの関係」とは、地域の子供達を地域の方々が支援・指導する中で、同世代の関係だけでなく、祖父母、親、子供、孫といった様々な世代を超えた先輩・後輩との関係のこと。

3 事業の主体

広川町では、広川町中央公民館が中心となり34の下部組織である分館がそれぞれの地区において、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを基盤に、人づくり・地域づくりを担う分館活動を主体的に行っている。本実践は、智徳区分館長を中心に、分館運営委員会及び関係する部会等の協議のもと、広川町中央公民館との連携により行ったものである。



「広川町中央公民館と智徳区分館組織の関係図」

4 連携・協力機関・団体等

下広川小学校・PTA、広川町中央公民館、広川町教育委員会、地域ボランティア

5 事業予算

	<夏休みきらめき学習>	<通学合宿>	<子供風流太鼓>
智徳区	なし	なし	150,000円
参加者	一人300円	一人3,000円	なし
広川町	なし	14,000円	なし

6 実施に至る経緯

<夏休みきらめき学習>	<通学合宿>	<子供風流太鼓>
教育委員会の「各地区分館を開き子供の居場所を」の願いのもと、平成15年以降実施している。子供達の思い出作りとともに、地域の人材発掘や地域のよさの見直しが図られている。	教育委員会との協議により、令和元年度、1回目の通学合宿を行った。子供達の「もう一度、通学合宿を」の願いに応え、2年続けて通学合宿を実施した。	智徳区で古くから続く伝統文化（1644年熊野神社再興以来）を守るため、平成23年に智徳風流保存会が結成され、智徳区全ての小学生男子を対象として、毎年引き継がれている。

7 プログラム作成の視点

<夏休みきらめき学習>	<通学合宿>	<子供風流太鼓>
① 子供同士で教え合いができる機の配置 ② 子供の意欲を喚起する体験活動の位置づけ	① 異学年による班編成 ② 炊事、掃除等の体験活動の位置づけ ③ 安全面での配慮	① 上、下学年班編成及び学年に応じた指導の工夫 ② 6年生による下級生への指導時間の確保

8 事業の内容

(1) 「夏休みきらめき学習」



「教え合い学習」



「カレーライス作り」



「私のバルーンアート」

8月2日、智徳区内外の51名（下広川小児童：1～6年）の子供達が智徳区公民館に集まった。初めてふれあう子供もいたが、徐々に慣れてきてみんなで楽しくバルーンアートを作った。最後に、みんなで美味しいカレーライスを作って、みんなで楽しくカレーライスを食べ、とても楽しい一日となった。

(2) 「通学合宿」



「3泊4日の通学合宿」

智徳区にとっては2年続けての通学合宿であった。昨年の「とても楽しかったです。通学合宿をもう一度お願いします。」の子供達の強い願いに応じて行った通学合宿である。ボランティアの方々と一緒に夕食を作り、楽しく会食し、手際よく片付けをした。子供によっては生活技能に個人差があったり、態度に違いがあったりして、言葉のかけ方が難しかった。しかし、2年間のお世話を通して今の子供達のことを随分、分かったような気がする。また、子供達とのかかわりを通して、以前よりも、お世話をする役員や地域のボランティア同士、互いの気心が知れるようになった。

(3) 「子供風流太鼓」



「子供風流太鼓の話聞く」



「上級生から下級生へ」



「ひろかわ古墳まつりで」

子供風流太鼓は、「ひろかわ古墳まつり」や毎年12月16日に行う「座送り」等の数週間前から公民館で練習を行っている。保存会の役員は、子供風流太鼓の意義（五穀豊穡の願い～300年以上も先輩から後輩へと受け継がれてきた大切な行事）や子供一人一人の役割を伝えた。

6年生の子供達は、今まで役員や先輩から教えてもらったことを、自分が教える立場の自覚のもと「足をここに、バチはこう持って。」と、優しく下級生に教え、下級生は上級生のまねをしながら笑顔で練習に参加していた。

毎年11月第2日曜日に行われる「ひろかわ古墳まつり」で、代表の子供が「子供風流太鼓」を舞った。地域の方々に見守られ、顔にお化粧をし、着物、足袋、草履の衣装で、和太鼓の演奏のもと堂々と踊った。子供風流太鼓は、このように地域が一体となって受け継いできた。

9 事業の成果

共通：異学年の子供及び地域住民等による「ななめの関係」の成長		
<p><夏休みきらめき学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 異学年の子供達による主体的・協力的で楽しい活動の実現 ○ 地域住民等による子供理解（声かけ等）の深化及び地域住民相互の連帯感の深まり 	<p><通学合宿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 異学年の子供達による主体的・協力的で楽しい活動の実現 ○ 基本的な生活習慣の醸成 ○ 地域住民等による子供理解の深化及び地域住民相互の連帯感の深まり 	<p><子供風流太鼓></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 風流保存会による小学生への風流太鼓の継承 ○ 智徳区の全ての小学生男子における縦及び横のつながりの強化 ○ 地域住民相互の連帯感の深まり

10 今後の課題

<p><夏休みきらめき学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供の活動意欲を喚起する体験活動の工夫 ○ 子供の活動を助けるボランティアの確保 	<p><通学合宿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供が主体的に活動できる場の工夫 ○ 子供の活動を助けるボランティアの確保 	<p><子供風流太鼓></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統を伝える指導員（若者）の確保及び育成 ○ 衣装・道具類の確保及び草履を作る人の継承が困難（高齢化）
--	--	--

11 問合せ先

〒834-0231 福岡県八女郡広川町大字新代 1840-1
 八女郡広川町中央公民館 館長 堤 健治
 TEL:0943-32-0093 FAX:0943-32-4287 E-mail:syougai@town.hirokawa.lg.jp